

福岡市提出資料



福岡市
グローバル創業・雇用創出特区



1 循環型社会の実現に向けた規制緩和

新規提案

食品廃棄物の再資源化を促進する 規制改革を提案！

- 現状**
- CO2排出抑制などで注目される「バイオ炭」は、農地の土壌改良やコンクリートの材料など、様々な活用方法がある。
 - 「コーヒーかす」から「バイオ炭」を製造する技術が確立され、コンビニ事業者などから排出される廃棄物を活用する予定。

- 課題**
- しかし、「コーヒーかす」を収集するには規制が伴い、店舗などから集めることができない。

そこで

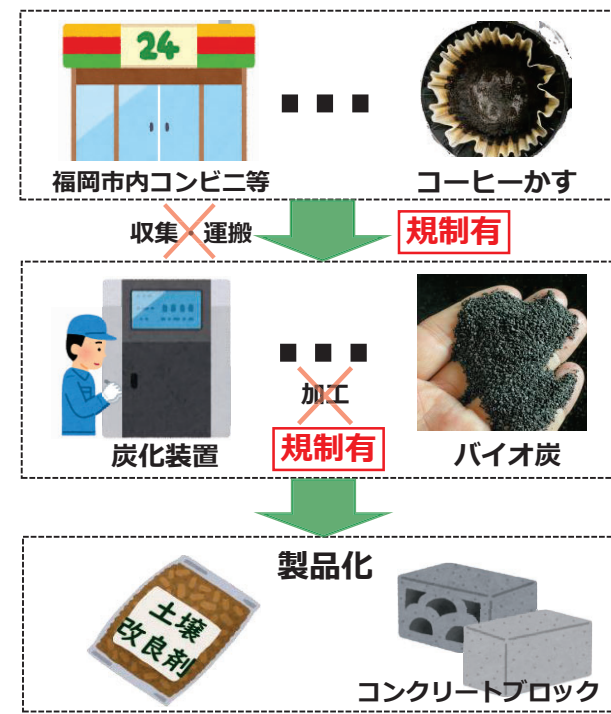
- 提案**
- 「コーヒーかす」を収集し再資源化できる こととする。

※自治体が再生利用計画を確認することを条件に、
「専ら再生利用の目的となる廃棄物(廃棄物処理業の許可が不要)」として取り扱う。

[廃棄物の処理及び清掃に関する法律 第7条・14条 (S46.10.16 環整43号) の緩和]

限りある資源を有効活用し、循環型社会を実現！

再資源化→製品化までの流れ



太陽光エネルギーの有効活用を促進する規制緩和を提案！

現状

- 再生可能エネルギーを普及させるには、電力需要に応じた売電を促す仕組みが有効。
- 蓄電池を活用し、電力需要が高い（＝市場価格が高い）時間帯に売電できる「FIP制度」が創設されたが、活用が進んでいない。

課題

- 発電者が「FIP制度」の認定を受けても、すぐに蓄電池を使用できる制度となっておらず、活用できない。

そこで

提案

- FIP制度の認定時点から蓄電池の使用を認め、同制度の活用を進めていく。

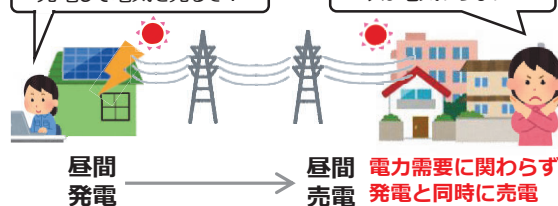
※再生可能エネルギー電気の利用の促進に関する特別措置法等の見直し

自然環境を活かした再生可能エネルギーの普及を促進！

FIT（従来制度）※固定価格買取

発電して電気を売るぞ！

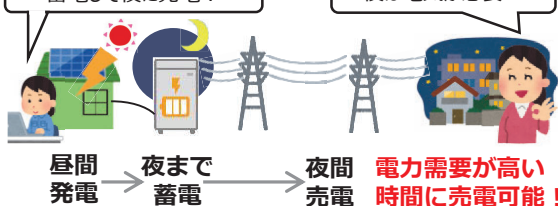
今は電気いらない！



FIP（新制度）

蓄電して夜に売電！

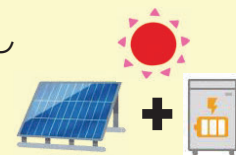
夜は電気が必要！



ところが…



FIP制度にしても、2ヵ月も蓄電池が使えないなんて…



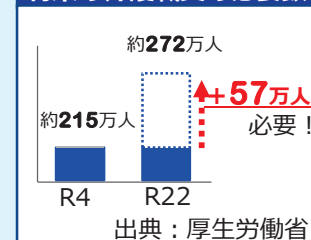
3 外国人介護人材の確保に向けた規制緩和

新規提案

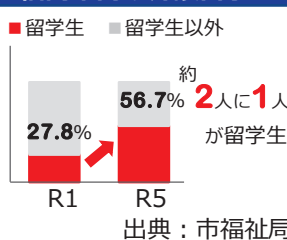
介護現場の人材不足を解消するため、規制緩和を提案！

- 現状**
- 介護ニーズが高まる中、**介護人材はさらに必要。**
 - 介護福祉士養成学校の**半数以上を占める留学生**は、**介護業界の貴重な人材。**

将来の介護職員の必要数



福岡市内の介護留学生



- 課題**
- 日本人学生は、**養成学校を卒業後、施設で働きながら、より高度な技術を習得**できる。
 - 一方、**留学生は、養成学校を卒業するだけでは、施設で働きながら、より高度な技術習得ができない。**
(令和8年度までの卒業生は経過措置あり)

▼養成学校卒業後のイメージ



(現行:在留資格「介護」は介護福祉士の資格が必要)

- 提案**
- 留学生についても、**養成学校を卒業後、一定の要件の下、介護施設での就労を可能**とする。
(介護福祉士の資格取得を目指す等)

※出入国管理及び難民認定法（在留資格「介護」）の緩和

市民が安心できる持続可能な介護サービスを実現！



4 国家公務員の退職手当の特例

計画認定

新たに3社のスタートアップを追加！

IT分野

トゥースリー

23株式会社

令和2年9月設立

クリエイティブ制作全般（WEBサイト構築、アプリ開発 など）

TWO THREE

23

観光分野

ホスピタリティ ブリッジ

株式会社Hospitality Bridge

令和5年11月設立

観光コンサルティング事業、

観光地活性化計画の立案・策定及びコンサルティング事業



HOSPITALITY BRIDGE

Work together and find the best solution

IT分野

株式会社ブレイブシャイン

令和5年11月設立

システムエンジニアリングサービス事業、

WEB、業務系アプリの開発領域やインフラ構築領域における技術支援と営業支援



スタートアップの課題である「質の高い人材の確保」を支援！